

## 菅平への一人旅

新行内 隆明（筑波大学 生物学類 3年）

菅平高原実験センターと下田臨海実験センターは、名前の通りつくばから遠く離れた地にあります。これらの実験センターには、そこで実施される臨海、野外実習を取らない限り行く事は殆ど無いでしょう。しかし、これらの実験センターは全ての学類生に開かれた施設であり、手続きさえ踏めばいくらかでも自主的に利用出来ます。今回、実習とは無関係に菅平高原実験センターを利用した学類生の1人として、その記録を寄稿させていただきます。

きっかけは、つくば生物ジャーナル2003年5月号に掲載されている『学類生も積極的にセンターの利用を』の記事です。この記事を読んでいく内に、自分も自主的な学習会をしたいと思い始め、学友数人に声をかけ、町田先生に話を聞いて実験センターに利用予約の電話をしました。そして、過程は省略しますが、結果として1人で(あれ?)菅平に行く事になり、2月の休講で授業が無い日に2泊3日で菅平に行きました。

初日の午後にセンターに着き、事務室で宿泊書類を書いていたら、偶然町田先生と遭遇しました。そのまま先生の研究室に連れて行かれ、先日実施された生物学野外実習のテキストを頂きました。そのすぐ後、カマアシムシを取りに行くからと先生に誘われ山中に雪掘りに行きました。余談ですが、その時掘り起こした土からいくつもカマアシムシが見つかったそうです。センターに帰ってからは、研究棟の図書室で虫の専門書などを読ませていただきました。

2日目は、午前中に研究室の清水さんが大明神の滝に連れて行ってくれました。その際滝を背景に写真を撮ってくれたので、その写真は最後に掲載します。あと、この散策の途中でカモシカの糞を採取したのですが、それは先生の勧めもあり乾燥させて家に持ち帰りました。午後は双眼鏡を借りて野鳥を見たり、雪上の足跡の主を追ったりと、自由気ままにセンターの敷地内を散策しました。普段大学構内では見る事の無い野鳥などを見る事ができ、とても有意義な時間を過ごせました。夜は清水さんが虫の本を数冊貸してくれ、様々な虫の生態を紹介してくれました。この場を借りて、この日1日世話してくださった清水さんにお礼を申し上げます。

最終日は、電車の都合もあり朝にセンターを出発しました。出発前に先生の研究室に寄って挨拶したら、またいつでも来なさいと言われました。そうして私はセンターを後にし、家に帰りました。

如何でしたでしょうか。これらは全て、実習と無関係に菅平に行行って実際に体験した事です。実際、私も最初は実習でもない時に1人で菅平行っても、独り寂しく研究室見学ぐらいしか出来ないだろうと考えていました。しかしそれは全くの誤りであり、先生を始めとする研究室の方々は、上に書いた通りいろいろと私に構ってくれ、もの凄く有意義な時間を過ごす事ができました。まるで、小さな野外実習を受けた気分です。

勿論単位にはなりません、それ以上にこうした経験が出来た事に意義があります。こうした事は、普段の講義や図書館での専門書の読書とは違った意味で、生物学を学問している事になると私は思うのです。そうした意味で、今回の一人旅は凄くいい体験になりました。機会があれば、またこうして自主的に実験センターへ行きたいものです。



写真 大明神の滝と私